

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

平成 30 年度病虫害発生予察技術情報第 2 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 2 号（チャバネアオカメムシの飛来について）を発表したので送付します。

技術情報第 2 号

果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ）の飛来について

- 1 対象作物名：果樹全般（ウメ、モモ、スモモ、ナシ、カキ、カンキツ等）
- 2 病虫害名：果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ）
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生量：前期（4 月～8 月 3 半旬） 前年より多（前期に多発した平成 26 年並）
- 5 本年の状況
 - (1) 越冬量調査（平成 30 年 1 月～2 月実施）
 - ・県下 43 か所の 1 m²あたり越冬虫数は、3.8 頭/m²と過去 10 年間で 2 番目に多かった。
 - ・地点ごとのばらつきは 0～25 頭/m²と大きいものの、採集地点率は 97.7%と高かった。
 - ・前期（4 月～8 月 3 半旬）のチャバネアオカメムシ類の発生量は県下全域で多いと考えられた（29 農林試第 6878 号 病虫害発生予察技術情報第 18 号（チャバネアオカメムシの越冬量））。
 - (2) トラップ調査（平成 30 年 4 月 1 日～継続中）
 - ・筑紫野市における 5 月 3 半旬のフェロモンによるチャバネアオカメムシの誘殺虫数は、**過去 10 年間で最も多く、前期（4 月～8 月 3 半旬）に多発した平成 26 年並**であった。
誘殺虫数（本年 321 頭、前年 22 頭、平成 26 年 316 頭）
 - ・予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺虫数は、4 月 1 半旬～5 月 2 半旬まで平年並で推移していたが、5 月 3 半旬に急激に増加した地点が散見される（図 1）。過去 20 年間で最も多い地点もあった（飯塚市入水）。

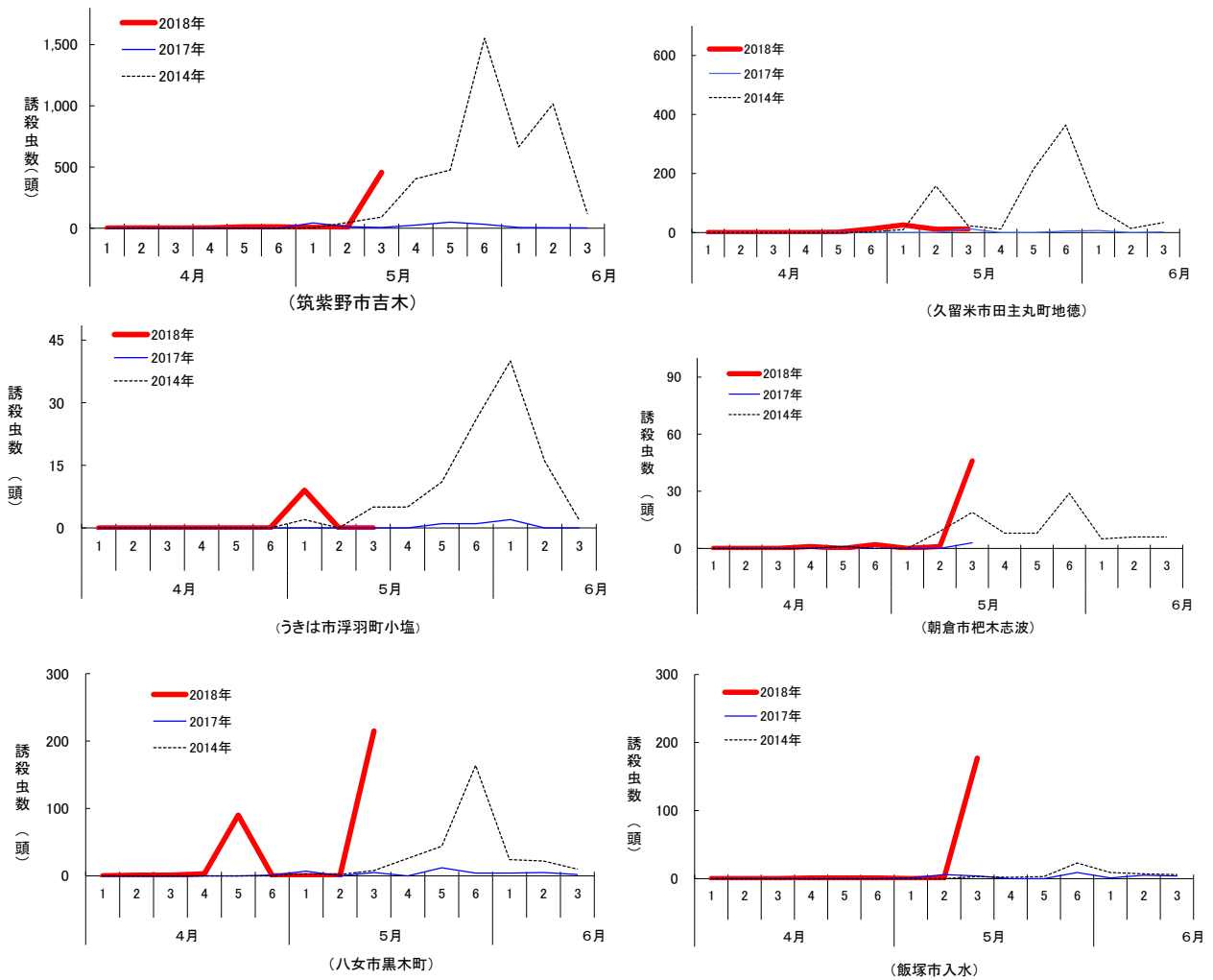


図1 チャバネオアカメムシの予察灯による誘殺虫数の推移

6 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹カメムシ類の飛来時期は地域により異なる。特に越冬量が多かった地域は注意が必要である。飛来や被害発生状況は、同一園内でも偏りがあるため、園内全体を注意して見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。
- (2) 果樹カメムシ類は広範囲に移動するため、薬剤散布は広域一斉防除の効果が高い。
- (3) 薬剤防除の際は、収穫前日数等農薬使用基準を遵守する。
- (4) 降雨があると薬剤の残効が短くなるので、散布間隔に注意する。
- (5) 今後の発生状況については、病害虫防除所ホームページ病害虫の発生状況 (<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/doukou/hassei.html>) を参照する。

(参考)

表2 チャバネアオカメムシの1㎡当たり越冬虫数 (単位: 頭/㎡)

地域名	2014年	2018年	平年
福岡・宗像・飯塚	1.9	7.8	0.9
久留米・朝倉	7.8	4.7	2.3
筑後	2.6	2.1	1.2
京築	3.5	1.4	0.7
県平均	4.8	3.8	1.6
採集地点率	97.1	97.1	79.4

注1) 地区の越冬成虫数は、地域内にある地点の越冬量の平均

注2) 平年値は2009～2018年までの10か年の平均

注3) 採集地点率は、全調査地点(34地点)のうち越冬成虫が採集された地点の百分率

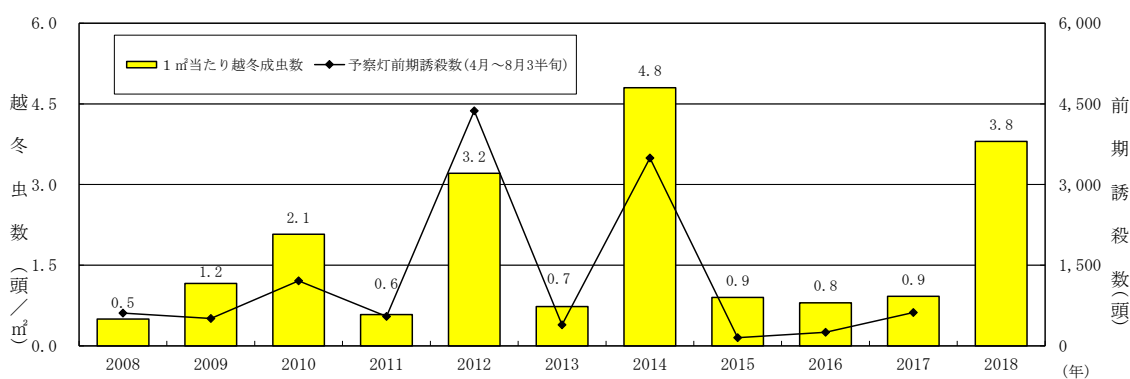


図2 チャバネアオカメムシの1㎡当たり越冬虫数と予察等による前期(4月～8月3半旬)の誘殺虫数の年次推移

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「福岡県病害虫防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>

福岡県病害虫防除所



最新の病害虫発生状況